

令和 7 年(2025 年)8 月 29 日

令和 7 年度(2025 年度)第 5 回宝塚市上下水道事業審議会(書面審議)概要

[意見募集期間] 令和 7 年 7 月 31 日(木) ～ 令和 7 年 8 月 29 日(金)

[意見提出委員] 鋤田 泰子 尾崎 平
 足立 泰美 山本 敏晴
 水谷 公隆 池上 陽子
 奥野 敦士 関 義友

(敬称略・順不同)

[審議会の成立] 委員総数 10 人中意見提出委員数 8 人のため、
宝塚市上下水道事業審議会規則第 6 条第 2 項により、審議会は成立

[書面審議の議題] 水道ビジョン 2035(案)及び下水道事業ビジョン 2035(案)

[意見の内容] 別紙のとおり

[意見への対応] 別紙のとおり

令和7年度（2025年度）第5回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

議題 水道ビジョン2035（案）について

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
1	水道	全般	未だ校正途中の段階かと思いますが、余白が多いページ数が散見されますので、段落を含めて見直しをお願いします。	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
2	水道	全般	図表、グラフや現場写真などを使用しており、分かり易く見やすい構成になっています。文書での説明より一般市民にとって身近に感じられます。	ご意見ありがとうございます。	無
3	水道	全般	70ページにわたる解説ですので、一般市民が読むには荷が重いです。また、最大の課題は老朽化対策と再度の料金値上げと考えます。44年も値上げをせず運営されてきたことに大きな問題があります。この点を含めて確りとした説明内容を構築して下さい。	ご意見ありがとうございます。	無
4	水道	全般	校正途中でもありますが、グラフや説明文の配置統一をお願いします。	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
5	水道	全般	水道事業は独立採算性が基本であり、料金収入で経費を賄わねばなりません。一方では老朽化した設備の更新負担が大きく料金引き上げは避けられません。 全国的に見ても水道管の老朽化や耐震化の遅れなどが自然災害等への脆弱性が深刻な問題となっています。	ご意見ありがとうございます。 今後の参考とさせていただきます。	無
6	水道	全般	本市においては供給量についてもそれほど余裕がなく、自己水から県営水道と阪神水道企業団からの受水比率が6割近くになり、このこともコストアップに繋がっているように思います。	ご意見ありがとうございます。 既存施設の更新費用などを勘案すると、他の用水供給事業者からの受水が直ちにコストアップに繋がるとは考えておりませんが、将来の水源の在り方については参考にさせていただきます。	無

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
7	水道	全般	水源の多様化の検討やインフラ更新ための必要な財政戦略などは一般市民に分かりやすく説明と理解を得るがためにも積極的な情報公開が必要であると思います。	ご意見ありがとうございます。 本ビジョン(案)でも、広報活動の充実や市民との協働は重点として取り上げています。 今後も、わかりやすい説明や情報公開に努めます。	無
8	水道	全般	「効率」という言葉は、水道ビジョンで60回、下水道ビジョンで34回登場しており、効率化が大きなテーマであると理解しています。 一方で、今回の意見提出用封筒には切手が貼付されており、宝塚市の他課からの郵便物でも同様の対応を見かけました。市として料金後納郵便などを導入されていないのか疑問に思いました。 これまで市として多くのコスト削減に取り組まれてきたと承知しておりますが、市民にとって最も目に見えやすい部分で効率化が十分に図られていないように映ると、「本当に上下水道事業としてコスト削減に積極的に取り組んでいるのか」「料金改定をする前に身近な効率化を進めるべきではないか」といった疑念につながりかねません。 もちろん、職員の人件費等を含めて総合的に判断した結果、切手を貼付する方が料金後納郵便よりも効率的であるのであれば、その旨をご教示いただきたいと思います。そうでない場合には、金額的な影響は小さいのかもしれませんが、行政に対する信頼はこの小さな積み重ねによって醸成されるものと考えますので、改善の余地があればご検討いただければ幸いです。	ご意見ありがとうございます。 ご意見を参考に今後も経費の節減に努めます。	無
9	水道	全般	ボトルウォーターやミネラルウォーターの形で流通している飲料水を含めたトイレに流す水も含めたマーケティング・リサーチをして、市民が宝塚市の上水道に求める品質をポジショニング分析を行うことを怠ってきたのでは？	ご意見ありがとうございます。 水道事業は水道法に基づき運営されていますが、法第1条に法律の目的として「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与する」ことを目的として定めています。 ボトルウォーターやミネラルウォーターといった商業ベースの飲料水と同列で議論することは困難と考えます。	無
10	水道	目次	第5章 参考資料⇒章にしない	ご意見のとおり修正します。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
11	水道	はじめに	はじめに、全体として、この10年間で、コロナ(水需要の変化や減免)や和歌山での落橋事故(老朽化)、能登半島地震(耐震化)、PFAS(水質管理)水道行政の移管など社会的な情勢の説明などは不要でしょうか？ 実例をあげた上での課題を明示した方がイメージしやすいように思います	ご意見を参考に修正します。	有
12	水道	はじめに	「様々な諸課題に対応するため、」⇒ 「多様な課題に対応するため」「様々」と「諸課題」が重複表現。	ご意見のとおり修正します。	有
13	水道	はじめに	「整理し直し、」⇒ 再整理し	ご意見のとおり修正します。	有
14	水道	はじめに	本市では、平成28年に「水道ビジョン2025」を策定し、と始まりますが、その中に昨年44年ぶりに水道料金の値上げをした文言をどこかの箇所に入れては如何かと思います。	ご意見を参考に修正します。	有
15	水道	はじめに	それぞれ掲載しています⇒それぞれまとめています	ご意見のとおり修正します。	有
16	水道	2 (2)	(2) 現況、(3) 水源割合などをグラフを使い表記していますが余白が多くバランスが悪いような気がします。	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
17	水道	2 (2)	表1-1⇒数字は右寄せのほうがよい	ご意見のとおり修正します。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
18	水道	2 (2)	これらの用水供給事業体からの受水により、安定した水道水の供給に向けて、水質の保持や渇水時の柔軟な水運用などに取り組んでいます ⇒わかりにくい。「などに取り組んでいます」は「が可能になっています」では？	ご意見を参考に修正します。	有
19	水道	3 (3)	山麓部に向かって放射状に⇒「放射状に」は理解しにくい	ご意見を参考に修正します。	有
20	水道	4 (4)	図1-5⇒ラベルの単位が異なるので別のラベルを、凡例をつける	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	未
21	水道	5 (4)	「人でした。」⇒ 「です」 現状説明なので現在形の方が自然。	ご意見のとおり修正します。	有
22	水道	6 (5)	「減少」⇒「減少傾向」	ご意見のとおり修正します。	有
23	水道	7 (6)	「40.2億円見込んで」⇒ 億円を見込んで 「を」	ご意見のとおり修正します。	有
24	水道	7 (6)	「減免分を含んでいます。）。」⇒ 「。」不要	ご意見のとおり修正します。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
25	水道	5～7 (4～6)	ページの下部分の余白が多いが気になります。	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
26	水道	8 (7)	図1-9、10⇒枠線は黒線、縦軸ラベルの文字を少し大きく	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
27	水道	9 (8)	図1-11のグラフの枠線を削除、図1-12、13も	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
28	水道	9 (8)	また、小浜浄水場については・・の標記をもう少し詳しく ➡小浜浄水場の井戸水の水質についてはPFASの問題が少なからずあり将来の在り方を検討する必要があります	ご意見を参考に修正します。	有
29	水道	9 (7～8)	本市が所有する2つの浄水場はともに耐震対策が施されており、法定… ⇒法定の前に「R7年の段階で」を挿入 文章の改行は不要 表1-2⇒せっかくなので本文と同じフォントにそろえては？	ご意見を参考に修正します。 ご意見のとおり修正します。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
30	水道	9～10 (7～8)	このページを纏めることはできませんか。10ページの余白が多いのが気になります。	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
31	水道	11 (9)	「布設されてから40年を超えた管路」⇒ 布設から40年を経過した管路	ご意見のとおり修正します。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
32	水道	12 (10)	「阪神7市」よりは「阪神間7市」の方が適切では？	ご意見のとおり修正します。	有
33	水道	12 (10～11)	図1-14⇒縦軸ラベルの文字大きく、凡例をつける 図1-14、15、16⇒字下げして図のタイトルとそろえる	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
34	水道	12～13 (10～11)	図1-14、15、16など 上水道では近隣他市町との比較、下水道では類似団体平均との比較がなされており、比較対象の基準に違いがみられます。 結論に沿いやすい数値を選択しているようにも受け取られかねませんので、上水道においても類似団体平均を合わせて提示し、下水道においても近隣他市町の値や平均を示すなど、比較対象の選定に一貫性・整合性を持たせることが望ましいと考えます。	ご意見ありがとうございます。 今年度第3回の上下水道事業審議会でご説明したとおり、水道ビジョンでは、施設・管路数量や管路の更新率、耐震化率、人口当たりの管路更新投資額の状況を説明する資料として、都市化のレベルなどが似通っている阪神間の近隣市と比較しています。全国平均や類似団体との比較では地域状況や整備時期などが様々で比較の対象としては不十分と考えています。	無
35	水道	13～14 (11)	14ページの(6)課題解決の方向性 を13ページ下部分に纏めることは難しいでしょうか…	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
36	水道	14 (11)	改行不要	ご意見のとおり修正します。	有
37	水道	15 (12)	余白部分が大きすぎます 校正途中ですので空白が多いとは思いますが、随所に見直しすべき箇所がありますので、その点をよろしく願います。	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
38	水道	15 (12)	「対応することとします。」⇒ 対応していきます。の方が自然	ご意見のとおり修正します。	有
39	水道	15 (12)	「人口減少に伴う収益悪化や老朽化施設の更新など多くの課題がある中で、 効率的かつ強靱な供給体制を構築し、変化する社会に柔軟に対応する必要があります。」⇒ 文章がやや冗長	ご意見を参考に修正します。	有
40	水道	15 (12)	3行目から⇒改行不要 8行目「そのため」⇒「そこで」 17,18行目の基本理念⇒白ぬき文字は見にくい	ご意見のとおり修正します。 ご意見のとおり修正します。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
41	水道	17 (14)	～老朽化や地震災害による事故から…⇒老朽化による事故(地震災害は事故ではない) 各施策のタイトル⇒左寄せではなく中央寄せしては？	ご意見を参考に修正します。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
42	水道	17 (14)	「災害備蓄を消費する期間(3日間)以内に」⇒ 「備蓄水を消費する3日以内に、」	ご意見を参考に修正します。	有
43	水道	17 (14)	「災害時には災害備蓄を…必要があります」⇒日本語わからない 災害時⇒災害後	上記の意見も併せて参考に修正します。	有
44	水道	17 (14)	「新たなリスク要因が現れる一方、」⇒ PFASのことは触れないのか？	ご意見を参考に修正します。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
45	水道	18 (15)	表2-1(表2-2, 3, 4も)⇒文字大きめ 重要指標の説明については改行不要(以降同様)	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
46	水道	21 (18)	「各学校での応急給水訓練を…」⇒対象は市民の?小学生の?	ご意見を参考に修正します。	有
47	水道	23 (20)	第3章 宝塚水道事業の取組 の表題の位置を上↑にあげる	ご意見のとおり修正します。	有
48	水道	23 (20)	表3-1⇒キーワード、数字とキーワードを並列から上下に	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
49	水道	25 (22)	以降、改行不要の箇所多数あり	ご意見のとおり修正します。	有
50	水道	26 (23)	「管路の材質(管種)ごとに想定使用年数と上限使用年数を設定し、」 ⇒想定使用年数と上限使用年数の定義が不明 19行目「第5章 参考資料」を参照⇒参考資料は章立てしない	ご意見を参考に修正します。 第5章は削除します。	有
51	水道	27 (24)	「阪神淡路大震災と同程度の被災時」 ⇒被害が同じでは意味がない。「同程度の揺れにおいて」では?	ご意見のとおり修正します。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
52	水道	28 (25)	「コンピューター上で配水池・加圧所のモデルを作り」 ⇒「配水池の構造特性に対して」では？	ご意見を参考に修正します。	有
53	水道	28 (25)	「即座に生命の危機に陥る事態を最小化」⇒ 「生命の危機に直結する事態を最小化」	ご意見のとおり修正します。	有
54	水道	29 (26)	ページ頭に「◆重要指標とモニタリング指標」のタイトルを挿入 (第3章全般)	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
55	水道	31 (27)	「を与えており、今後も」⇒「与えております。また、今後も」	ご意見のとおり修正します。	有
56	水道	34 (31)	図3-I-12⇒上へ(図面タイトルが次ページにずれている)	ご意見のとおり修正します。	有
57	水道	39 (35)	受電設備等の更新に合わせた…非常用発電設備のリース等➡ 非常用発電設備のリースへの変更等、費用対効果を考慮した…	ご意見を参考に修正します。	有
58	水道	43 (39)	【重要指標】廃止した施設数⇒廃止する	ご意見のとおり修正します。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
59	水道	47 (42)	文章頭一文字開ける 12行目 「改定率となっています」⇒「なっていました」	ご意見を参考に修正します。	有
60	水道	49 (44)	「なくなるという結果となりました」⇒「なくなると見込まれます」	ご意見を参考に修正します。	有
61	水道	49 (44)	追加説明として… その他、小林・亀井浄水場は解体費用が非常に高く、撤去後の売却も現実的ではないとの判断から現在のところ利活用が進んでいません。	ご意見を参考に修正します。	有
62	水道	50 (45)	モニタリング指標の資金残高の目標「前年度給水実績の6ヶ月分」⇒ 給水収益の6か月分という表記の仕方でよいのか？運転に必要な経費と復旧事業費を想定し、〇億円と金額を示した方がよいのではいか。 そのうえで、算定根拠を下に示して、現時点では〇億円であるが、物価や金利の影響により、適宜、見直しが必要である。などの表記の仕方もあるのではないか。 今は、6か月分だが、復旧事業の物価指数が変われば、金額が変わるため	ご意見ありがとうございます。 ご意見のとおり、運転に必要な経費と復旧事業に基づく計算という方法が妥当であると認識していますが、次期経営戦略では、総括原価を基礎として算定期間における必要経費と料金収入（給水収益）が均衡するように料金水準を見直していく方針です。そのため、必要な経費による試算も給水収益による試算も一定程度均衡すると考えており、また料金改定の都度、徐々に経営基盤を強化させていきたいと考えこのような設定方法としています。 適宜見直しを行うことについては、ご意見を参考に文言を追記します。	有
63	水道	50 (45)	「前年度給水収益の4ヶ月分」⇒ 下水は2か月分となっており、上水と下水とで整合がとれていない。	ご意見ありがとうございます。 水道と下水道では職員数や施設数などの事業規模が異なること、水道の場合には使用者への供給・回収までに浄水等の事前のコストが大きく発生するなど、下水道とのコスト構造の違いを考慮し、それぞれの月数を設定しています。	無
64	水道	50 (45)	「給水収益40億円の6か月分相当」⇒ 「給水収益40億円/年の6か月分」など、時間の単位がないと、40×6ヶ月分なのか、40億×6/12なのかわからない	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり表現を修正します。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
65	水道	52 (47)	図3-Ⅲ-4職員研修の様子 こんな無意味な写真を載せるために費やすのではなく、アナログ式メーター・スマートメーターの違いを伝える図を載せるべきです。	ご意見ありがとうございます。 この章の趣旨が「適切な組織体制と人材育成・技術の継承」ですので、写真は削除し、原文のままとさせていただきます。	無
67	水道	54 (49)	「市民に聞く」「職員がつながる」⇒「市民とつながる」?	「宝塚市広報基本戦略」の記述を受けており修正しません。 (「職員がつながる」はインナー広報の重要性を掲げたものです)	無
66	水道	57 (52)	本文に「将来は現在の事業体での持続は難しくなると想定しており」との記述がありますが、この表現では、宝塚市上下水道事業として存続すること自体を前提としていないような印象を受けました。 文章の趣旨としては、「これまでのやり方では事業継続が厳しくなるため、他市との連携や官民連携など多様な取り組みが必要である」という点を示しているのだと理解しております。 そのうえで、現時点での前提はあくまで「宝塚市上下水道事業として存続すること」であると考えますので、その点が誤解されないよう、言い回しの修正を検討いただければと思います。	ご意見を参考に修正します。	有
68	水道	57 (52)	ウォーターPPPで事業費増加の抑制を期待できる理由が「水道事業を自治体と民間事業者が協力して運営する仕組みであること」だ。「内閣府、厚生労働省、経済産業省、国土交通省の連名で提案された」では非論理的であり、これではお上の意向だから大本営発表だから正しいと言っているのと同じで愚かでしょうか言いたくないのです。	ご意見を参考に修正します。	有
69	水道	57 (52)	本文にある「事業費増加の抑制も期待ンされています。」の「ン」は誤記かと思われます。「期待されています」の誤植かと存じますので、ご確認をお願いいたします。	ご意見のとおり修正します。	有
70	水道	61 (56)	「毎年、施策や事業の点検・評価を行い、」⇒誰が? 図4-1⇒枠線トル	ご意見を参考に修正します。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
71	水道	62 (57)	「本ビジョンそのものの」⇒ 「本ビジョン全体の」	ご意見のとおり修正します。	有
72	水道	63 (58)	第5章⇒トル	ご意見のとおり修正します。	有

令和7年度（2025年度）第5回宝塚市上下水道事業審議会 書面審議結果

議題 下水道ビジョン2035（案）について

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
1	下水道	全般	表やグラフ、現場写真など随所に取り入れて分かりやすく解説しています。近年、全国各地で多発する豪雨による河川氾濫や内水氾濫による災害の大きさに対して一般市民は大きな関心を持つようになりました。 最初に下水道事業の概要説明がありますが、これをまず読むことで下水処理の仕組みが理解できます。 逐次項目別に詳しい説明がなされていますので、ある程度の知識があれば理解は可能だと思います。 ただ、50ページ余のボリュームと専門用語が多いので、一般市民が読むには些か荷が重い感じがします。	ご意見ありがとうございます。	無
2	下水道	全般	※市町（村）の自治体区分の前に武庫川を結集軸として連携すべきです。 ※ウォーターPPPの本質とは何かを市民に開かれた連続講座を催してみんなで学んでからビジョンとするかどうかを決めるべきです。	ご意見ありがとうございます。 下水道は流域下水道域での連携は既にされており、今後も連携を継続します。 ウォーターPPPについては、審議会にて再度、本市の考え方を説明させていただきます。	無
3	下水道	目次	第3章 II ① 下水道施設の適切で効率的な維持管理（污水）→下水道施設の適切かつ効率的な維持管理（污水）	ご意見のとおり修正します。 P12、P22、P52についても、同様に修正します。	有
4	下水道	目次	第3章 II ② 下水道施設の適切で効率的な維持管理（雨水）→下水道施設の適切かつ効率的な維持管理（雨水）	ご意見のとおり修正します。 P12、P26、P52についても、同様に修正します。	有
5	下水道	はじめに	水道ビジョンと同様に具体的な社会情勢をあげながら説明しても良いのではないのでしょうか	ご意見ありがとうございます。 上水道では表記を増やしており、上下水道のバランスを合わせ、表記の修正を引き続き検討します。	未

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
6	下水道	2 (2)	図1-2 これ以下もグラフの枠線は削除してください	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
7	下水道	2 (2)	図1-2⇒枠線トル	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
8	下水道	3 (3)	となる見通しです⇒になると見込まれます	ご意見のとおり修正します。	有
9	下水道	3 (3)	100年後には7割以上の管渠が危険⇒管渠が老朽化状態となる	ご意見のとおり修正します。	有
10	下水道	3 (3)	経済面・技術面とも⇒コスト面・技術面ともに効率的ではありません。	全体的な文章表現の中で「経済面」とし、修正なしとします。	無
11	下水道	4 (4)	図1-4⇒枠線トル	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
12	下水道	5 (5)	図1-5⇒枠線トル	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
13	下水道	5 (5)	図1-5 指標の比較対象として類似団体平均を用いられている理由についてご説明いただきたいです。 また、上水道では近隣他市町との比較、下水道では類似団体平均との比較がなされており、比較対象の基準に違いがみられます。 結論に沿いやすい数値を選択しているようにも受け取られかねませんので、上水道においても類似団体平均を合わせて提示し、下水道においても近隣他市町の値や平均を示すなど、比較対象の選定に一貫性・整合性を持たせることが望ましいと考えます。	ご意見ありがとうございます。何を伝えたいかという視点でそれぞれが指標を選定しており、それぞれの指標により比較可能な対象が異なります。 まず、下水の図1-5に記載の使用料単価や污水处理原価などの経営指標は経営比較分析表により全国平均や類似団体平均が公表されており、近隣市との比較よりさらに広い視点で本市の経営の状況を評価・理解していただくことが可能と考え、類似団体平均との比較を採用しています。一方、上水道のビジョンにおいて、管路の更新や耐震化における課題を明確にするための説明に用いている一連の指標は、すべての項目の類似団体平均が公表されているわけではありません。よって、類似団体と平易に比較することはできませんが、読み手である市民に地形的特徴などをイメージしてもらいやすい近隣市との詳細な比較を行うことで本市の課題を知っていただきたいと考え比較分析を行っています。	無
14	下水道	6 (6)	「ウォーターPPPの導入などの取組」は誰から求められているのですか?!	交付金要綱等でも、国から求められています。 3章(P37)で記述を追記しています。	有
15	下水道	7 (7)	1時間当たりの雨量46.8mm(6年に1回の確率)とありますが、各地で線状降水帯による降雨量で甚大な被害が出ています。この基準で水害危険予想の対策を今後とも使用するのには問題はないでしょうか。	本市では、局所的に基準にとられない対策を実施していますが、下流域への影響を考え、広域的な基準変更が必要なため、今後も検討を重ねていきます。	無
16	下水道	8 (8)	能登半島地震⇒令和6年能登半島地震 気象庁が命名した正式な名称で記載した方が良い	ご意見のとおり修正します。 P16、P40、P42についても同様に修正します。	有
17	下水道	11 (11)	もつこと⇒設けること	ご意見のとおり修正します。	有
18	下水道	12 (12)	表3-1⇒キーワード、数字とキーワードを並列から上下に	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
19	下水道	15 (15)	水害危険予想箇所の対策実施率について 現状の指標は18.6ですがR12年度には100となっています。相当高い目標値 と思いますが問題はありませんか…	対象区域が限定的なため、目標達成が可能と考えています。 達成後は次期目標の設定を急ぎます。	無
20	下水道	19 (19)	過去に発生した向月町地区の浸水時には、常設の排水ポンプと併せて可動式 排水ポンプを活用し早急な浸水解消を図っています➡図りました。の表現の方 がベターと思いますが。	ご意見のとおり修正します。	有
21	下水道	20 (20)	防水板⇒止水板 制度の名称が防水となっているなら良いのですが、一般的には「止水板」かと	ご意見のとおり修正します。	有
22	下水道	20 (枠外)	ソフト⇒ルビ不要	ご意見のとおり修正します。	有
23	下水道	23 (枠外)	マンホールポンプ⇒ルビ不要	ご意見のとおり修正します。	有
24	下水道	25 (25)	図3-Ⅱ-5⇒枠線トル	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
25	下水道	27 (27)	図3-Ⅱ-8⇒枠線トル	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
26	下水道	29 (29)	図3-Ⅱ-1⇒きれいな図に	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	未
27	下水道	32 (32)	図3-Ⅲ-1⇒枠線トル	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
28	下水道	33 (34)	図3-Ⅲ-2⇒枠線トル	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有
29	下水道	33 (34)	「また、今後も一層、」以降の記述については、上水と下水で文言を揃えておられるように見受けられます。しかし、投資・財政計画や資金の枯渇時期の見通しからすると、料金水準の検討時期については両方で差異があると考えられます。具体的には、下水道は可及的速やかな検討が求められる一方で、上水道は下水道ほどの緊急性はないものの、3～5年以内には検討を要すると考えます。したがって、検討時期の記述については、上水と下水で異なる書きぶりとする方が適切ではないでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 確かに、水道と下水道では資金枯渇のタイミングなどに違いが生じることになりますが、今後、上下水道局では、定期的（概ね3～5年ごと）に料金（使用料）水準の検討を実施していく方針です。直近で改定を実施した水道事業においても、3～5年毎ごとに水準を見直すためには、令和10年度前後での改定を見据える必要があり、両事業ともにこれまでとは異なる小刻みな料金（使用料）水準の検討や改定に向けた取組みが必要になると考えています。	無
30	下水道	34 (35)	3行目 前年度下水道使用料の2ヶ月分⇒水道では4ヶ月分としているのに対して、なぜ下水道では2ヶ月なのか。水道と下水道で整合が取れていない。	ご意見ありがとうございます。 水道と下水道では職員数や施設数などの事業規模が異なること、水道の場合には使用者への供給・回収までに浄水等の事前のコストが大きく発生するなど、下水道とのコスト構造の違いを考慮し、それぞれの月数を設定しています。	無
31	下水道	34 (35)	5行目 この文章が理解できません。 水道事業の災害復旧事業費見込み額とはどこからでてきた数字なのでしょう か？	ご意見ありがとうございます。 「阪神・淡路大震災水道 水道の被害と復旧の記録」に基づいています。この記録によると、水道事業の災害復旧事業費の見込額は約3.5億円であり、これに当時からの建設資材物価指数の調整（150/85＝1.76）を考慮し、約6.2億円を算出しました。下水道の災害復旧費はこれに基づき施設の有無などの事業規模を勘案し算定しています。水道ビジョンに記載している数値を使用している旨を下水道ビジョンにも記載します。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
32	下水道	34 (35)	6行目 なぜ収益差を勘案する必要があるのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。収益差より保有施設の有無などが大きく影響するものであり、「(収益差)」については削除します。	有
33	下水道	34 (35)	10行目 表現がわかりにくい。 下水道使用料20億円/年の4ヶ月分 など、20億円の単位がないと、20×4ヶ月分なのか、20億×4/12なのかわからない。 ・そもそも、使用料の4ヶ月分という標記の仕方でよいのか？運転に必要な経費と復旧事業費を想定し、〇億円と金額を示した方がよいのではないか。 そのうえで、算定根拠を下に示して、現時点では〇億円であるが、物価や金利の影響により、適宜、見直しが必要である などの標記の仕方もあるのではないか。 今は4ヶ月分だが、復旧事業の物価指数が変われば、金額が変わる	ご意見ありがとうございます。表現を修正します。 また見直しについても、ご意見を参考に文言を追記します。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
34	下水道	35 (37)	ウォーターPPPについて【本文より抜粋】 経営基盤の強化には、官民連携の新たな形であるウォーターPPPの導入による効率化が大きく影響します。 一方で、官民連携の導入は民間事業者による協力範囲の規模や委託方法の確立など様々な要因に左右されるため、見通しがつかない部分も多く、今回の下水道ビジョンにおいては、ウォーターPPPの導入効果は試算の条件に含めていません。 しかし、本市の下水道事業としては国庫補助金を獲得する要件の一つであるウォーターPPPの導入を目指して積極的に取り組んでいることから、導入が実現できるようになった場合には、中間見直しの時点を目途に、導入による効果や展望などを今後の経営に反映することとします。 【意見】 ウォーターPPPについては、これまでの審議会での議論では導入の難しさなどが指摘され、下水道部局としては「様子見」というスタンスであると理解しておりました。したがって、「導入を目指して積極的に取り組んでいる」との表現は、従来の議論内容とは異なる印象を受けます。 一方、市議会令和7年度第2回定例会では、多くの議員がウォーターPPPに関して質問を行い、管理者からも前向きな答弁がなされており、社会的にも期待の高いテーマであることが伺えます。 そのため、審議会において十分な議論がなされないまま、今回の下水道ビジョンに「積極的に取り組んでいる」との表現を盛り込むことには懸念を覚えます。 私の認識に誤りがあればご教示いただきたく、認識が正しければ、ウォーターPPPに関する記述については、これまでの審議会での議論を踏まえた表現へ修正することが望ましいと考えます。	ウォーターPPPについては、審議会にて再度、本市の考え方を説明させていただきます。	無
35	下水道	35～37 (36～37)	36ページの「人材育成・技術の継承」よりも先に「ウォーターPPPの導入」が書かれているのは順番がおかしいですよ!! 自治労との合意や、人材確保への努力が欠けている文章にしか見えません。 民間企業にならでできる人材確保が行政にできないのはなぜなのでしょう？ 訳が解りません。	ご意見ありがとうございます。 記載箇所を修正します。	有
36	下水道	40 (40)	図3-Ⅳ-2⇒枠線トル	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有

No.	事業	ページ 修正前 (修正後)	審議会 意見・質問	意見・質問に対する対応、考え方 又は 修正内容	
				内容	修正
37	下水道	40～41 (40～41)	「ウォーターPPPの導入実現に向けて」と結論ありきの書きぶりで見過ぎできません!! ウォーターPPPについての各国での状況や日本国内のNGOや学者や杉並区長などの知見が書かれていないことは許し難い!!	ウォーターPPPについては、審議会にて再度、本市の考え方を説明させていただきます。	無
38	下水道	44 (44)	「毎年、施策や事業の点検・評価を行い、」⇒誰が?	主語の無い表記について表現を検討します。	有
39	下水道	46 (46)	第5章⇒トル(目次も?)	ご意見のとおり修正します。	有
40	下水道	48 (枠外)	アセットマネジメント⇒ルビ不要 アセット⇒ルビ不要	ご意見のとおり修正します。	有
41	下水道	52 (52)	表5-2⇒キーワード、数字とキーワードを並列から上下に	ご意見ありがとうございます。 文章の構成や図表については引き続き見やすくなるよう修正に努めます。	有